

1 学校法人龍谷大学の概要

1 建学の理念

学校法人龍谷大学は、浄土真宗本願寺派を母体とし、教育基本法及び学校教育法に従い、浄土真宗の精神に基づく教育を施すことを目的として設立された。本法人は、この目的を達成するために「龍谷大学」と「龍谷大学短期大学部」を設置しており、各学校の学則において、その設置目的を次のとおり定めている。

<龍谷大学の設置目的 一龍谷大学学則第1条一>

龍谷大学は、教育基本法及び学校教育法にしたがい、浄土真宗の精神にもとづく大学として、広く知識を授けるとともに、深く専門の諸学科を教授研究し、併せて有為の人材を養成することを目的としている。

<龍谷大学短期大学部の設置目的

一龍谷大学短期大学部学則第1条一>

龍谷大学短期大学部は、教育基本法並びに学校教育法による短期大学として、浄土真宗の精神にもとづき実際に即した専門の教育を施し、併せて有為の人材を養成することを目的としている。

本法人が設置する龍谷大学及び龍谷大学短期大学部では、「浄土真宗の精神」を建学の精神としている。また、浄土真宗の教えは親鸞聖人によって顕かにされたことから、「浄土真宗の精神」は「親鸞聖人の精神」であると理解され、親鸞聖人の生き方を指針として、虚偽に迷うことなく、何が真実であるかを常に見きわめ、自らを律していくことのできる人間を養成することを教育の目的としている。

この建学の精神である浄土真宗の精神(親鸞聖人の精神)は、本学に関わる全ての人に求められるものであり、より多くの人が理解し共に実践できるよう、次の5項目として顕している。

龍谷大学 建学の精神

The Founding Spirit of Ryukoku University

◇ すべてのいのちを大切にする「平等」の精神
Equality – We love and care for all living beings.

◇ 真実を求め真実に生きる「自立」の精神
Independence – We seek Truth and live up to it.

◇ 常にわが身をかえりみる「内省」の精神
Self-reflection – We always reflect upon ourselves.

◇ 生かされていることへの「感謝」の精神
Gratitude – We are grateful to all for supporting our lives.

◇ 人類の対話と共存を願う「平和」の精神
Peace – We wish for peaceful coexistence of all humankind through dialogs.

<各学舎に設けられている礼拝堂>



大宮学舎 本館



深草学舎 顕真館



瀬田学舎 樹心館

2 設置学校・所在地

【設置学校】

- ◆ 龍谷大学
- ◆ 龍谷大学短期大学部

【所在地】

- ◆ 深草学舎(所在地: 京都市伏見区深草塚本町67)
- ◆ 大宮学舎(所在地: 京都市下京区七条通大宮東入大工町125-1)
- ◆ 瀬田学舎(所在地: 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5)

【その他の主な施設】

- ◆ Ryukoku University Berkeley Center(RUBeC: ルーベック)
(所在地: アメリカ合衆国 カリフォルニア州 バークレー)
- ◆ Ryukoku University Hawaii Office(所在地: アメリカ合衆国 ハワイ州 ホノルル)
- ◆ 東京オフィス(所在地: 東京都千代田区丸の内2丁目2-1 岸本ビルディング10階)
- ◆ 大阪梅田キャンパス
(所在地: 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14F)
- ◆ 龍谷大学セミナーハウスともいき荘(所在地: 京都市上京区室町通下長者町通下ル近衛町38)
- ◆ 龍谷大学アバンティ響都ホール(所在地: 京都市南区東九条西山王町31 アバンティ9階)
- ◆ 龍谷ミュージアム(所在地: 京都市下京区西中筋正面下る丸屋町117)
- ◆ 南大日グラウンド(所在地: 京都市山科区勸修寺南大日)
- ◆ 艇庫(所在地: 滋賀県大津市螢谷743-2)

3 役員・評議員 (2011年3月14日現在)

◆ 理事長 橘 正信

◆ 専務理事 若原道昭

◆ 常務理事 高橋篤法/河嶋壽一/西垣泰幸

◆ 理事

竹田空尊/光岡理學/中戸康雄/不二川公勝/
小川信正/澤田一精/神子上恵群/三村峯男/
松原功人/前川清成/保利耕輔/桑羽隆慈/
園城義孝/赤松徹真/西本秀樹/佐藤研司/
鈴木龍也/大柳満之/大友信勝/
ポーリン・ケント/藤原直仁/長野了法

◆ 監事

釋 晃/鷺田幸夫/川勝正夫

◆ 評議員

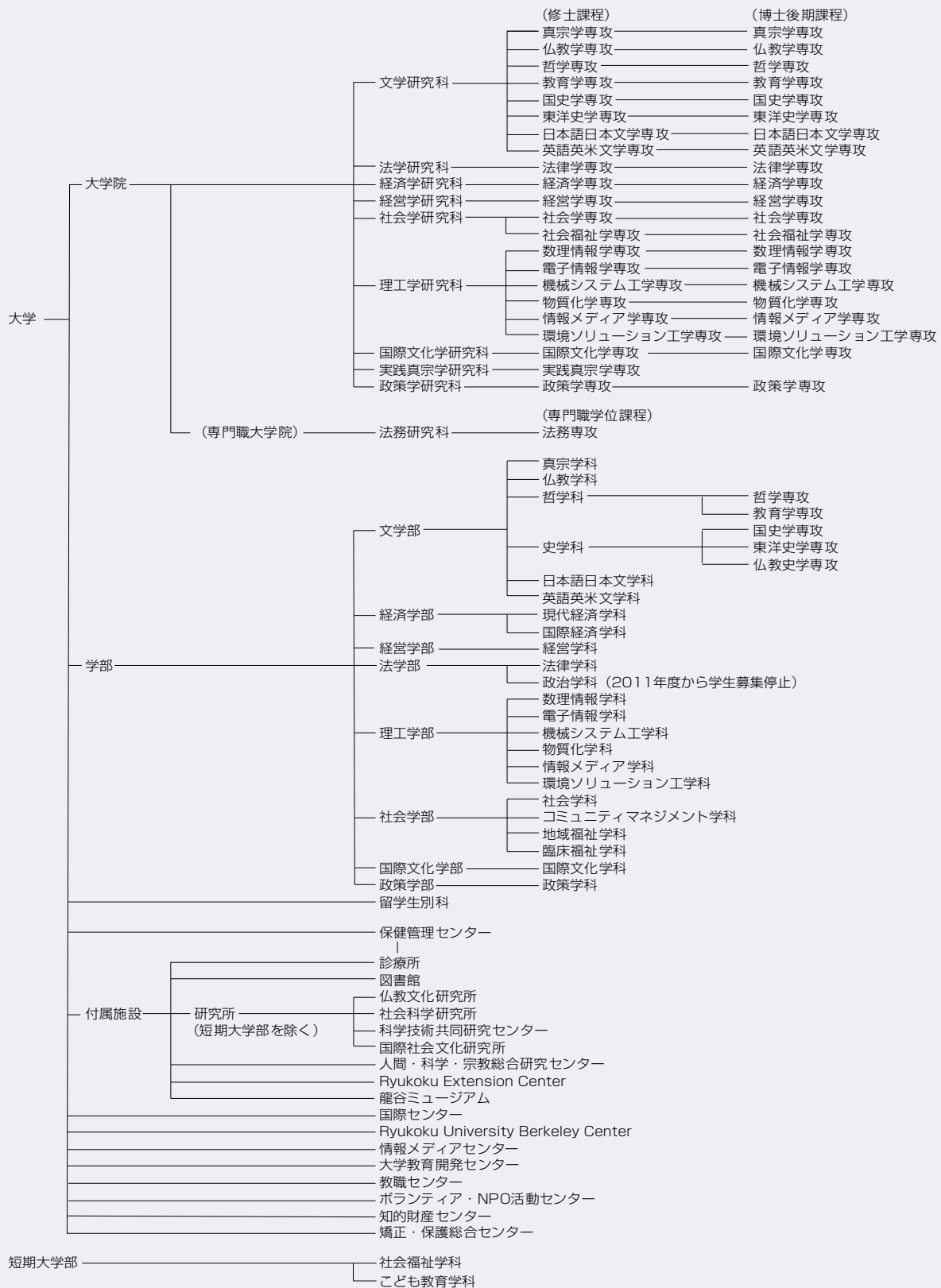
大田利生/大前 眞/政岡光宏/高橋 進/
四ツ谷晶二/金子龍太郎/須藤 護/加藤博史/
上 英之/杉村繁一/堤 次男/阪口新太郎/
湯口 博/杉 宣正/荒川林太郎/元井 實/
福井正典/成川和行/岡田 満/園城義孝/
後藤壽邦/那須野浄英/中尾史峰/武田智文/
養藤了文/武田昭英/青地敬水/井浦順爾/
吉野和夫/松永大徳/鈴木恭之

その他の理事

4 沿革

1639年 (寛永16)	本願寺派学寮として創設される。
1650年 (慶安3)	学寮の制条(学則)を定める。
1655年 (明暦元)	幕府の命により学寮を破却、以後東中筋魚棚下ル飯屋の学林で講義を行う。
1695年 (元禄8)	東中筋学林町に学林講堂・衆寮を再建する。
1871年 (明治4)	学林敷地の上地により、本願寺廓内へ移転する。
1872年 (明治5)	はじめて洋学を開講する。
1875年 (明治8)	林門改正により学校制度を採用し、普通学を開講する。
1876年 (明治9)	本派の学制により大教校となる。
1879年 (明治12)	大教校(現大宮学舎本館・南北両翼)落成する。
1885年 (明治18)	普通教校(現大宮学舎東翼)開講する。
1888年 (明治21)	大学林条例を發表し、考究院・内学院および文学寮の二院一寮制を採用する。
1900年 (明治33)	学制を更改し、仏教大学とする。
1905年 (明治38)	仏教大学、専門学校令により認可される。
1922年 (大正11)	大学令による大学設立の認可をうけ、龍谷大学と改称する。
1949年 (昭和24)	新制大学令により新制大学文学部(4年制)として認可される。
1950年 (昭和25)	短期大学部仏教科を設置する。国際文化学部国際文化学科を設置する。
1953年 (昭和28)	大学院文学研究科修士課程(真宗学真宗史専攻、仏教学仏教史専攻)を設置する。
1955年 (昭和30)	大学院文学研究科博士課程(真宗学真宗史専攻、仏教学仏教史専攻)を設置する。
1960年 (昭和35)	親鸞聖人700年大遠忌記念事業として伏見区深草に深草学舎を開設する。
1961年 (昭和36)	経済学部経済学科を設置する。
1962年 (昭和37)	短期大学部に社会福祉科を増設する。
1963年 (昭和38)	経済学部経営学科を増設する。
1966年 (昭和41)	経営学部経営学科を設置する。 大学院文学研究科修士課程と博士課程に真宗学、仏教学、哲学、国史学、東洋史学、国文学各専攻を設置する。(真宗学真宗史、仏教学仏教史各専攻廃止)
1967年 (昭和42)	大学院文学研究科修士課程と博士課程に英文学専攻を設置する。
1968年 (昭和43)	法学部法律学科を設置する。 文学部社会学科を設置する。
1971年 (昭和46)	大学院文学研究科修士課程に社会学・社会福祉学専攻を設置する。
1972年 (昭和47)	大学院法学研究科法律学専攻修士課程を設置する。
1974年 (昭和49)	大学院法学研究科法律学専攻博士課程を設置する。
1982年 (昭和57)	大学院経済学研究科経済学専攻修士課程を設置する。 大学院経営学研究科経営学専攻修士課程を設置する。

1984年 (昭和59)	大学院文学研究科社会学・社会福祉学専攻(修士課程)を分離し、博士課程に社会学、社会福祉学各専攻を設置する。
1985年 (昭和60)	大学院経済学研究科経済学専攻博士課程を設置する。 大学院経営学研究科経営学専攻博士課程を設置する。 留学生別科を設置する。 短期大学部専攻科仏教専攻を設置する。
1987年 (昭和62)	創立350年記念の一環として天津市瀨田大江町字横谷に瀨田学舎を開設する。
1989年 (平成元)	理工学部数理情報学科、電子情報学科、機械システム工学科、物質化学科を設置する。 社会学部社会学科、社会福祉学科を設置する。
1991年 (平成3)	大学院社会学研究科社会学専攻、社会福祉学専攻(修士課程・博士課程)を設置する。 瀨田学舎にRyukoku Extension Center(REC)を設置する。
1992年 (平成4)	文学部仏教学科真宗学専攻、文学科国文学専攻、文学科英文学専攻を真宗学科、日本語日本文学科、英語英文文学科に改組する。 法学部政治学科を設置する。 短期大学部専攻科福祉専攻を設置する。
1993年 (平成5)	大学院理工学研究科数理情報学専攻、電子情報学専攻、機械システム工学専攻、物質化学専攻(修士課程)を設置する。
1994年 (平成6)	大学院文学研究科教育学専攻(修士課程)を設置する。
1995年 (平成7)	大学院理工学研究科数理情報学専攻、電子情報学専攻、機械システム工学専攻、物質化学専攻(博士課程)を設置する。
1996年 (平成8)	国際文化学部国際文化学科を設置する。 大学院文学研究科国文学専攻を日本語日本文学専攻に、英文学専攻を英語英米文学専攻に名称変更する。
1997年 (平成9)	文学部、経済学部、経営学部(夜間主・夜間主コース)を開設する。
1998年 (平成10)	社会学部地域福祉学科、臨床福祉学科を設置する。
2000年 (平成12)	大学院国際文化学研究科国際文化学専攻(修士課程)を設置する。 大学院文学研究科教育学専攻(博士課程)を設置する。
2002年 (平成14)	大学院国際文化学研究科国際文化学専攻(博士課程)を設置する。
2003年 (平成15)	理工学部情報メディア学科、環境ソリューション工学科を設置する。
2004年 (平成16)	社会学部コミュニティマネジメント学科を設置する。
2005年 (平成17)	大学院法務研究科(法科大学院)法務専攻を設置する。
2006年 (平成18)	経済学部現代経済学科、国際経済学科を設置する。 アメリカ合衆国カリフォルニア州バークレーに海外拠点としてRyukoku University Berkeley Center(RUBeC)
2007年 (平成19)	大学院理工学研究科情報メディア学専攻、環境ソリューション工学専攻(修士課程)を設置する。
2009年 (平成21)	創立370周年迎える。 大学院実践真宗学研究科(修士課程)を設置する。 大学院理工学研究科情報メディア学専攻、環境ソリューション工学専攻(博士課程)を設置する。
2011年 (平成23)	政策学部政策学科を設置する。 政策学研究科政策学専攻(修士課程・博士課程)を設置する。 短期大学部こども教育学科を設置する。 短期大学部社会福祉科を社会福祉学科に名称を変更する。 龍谷ミュージアムを開館する。

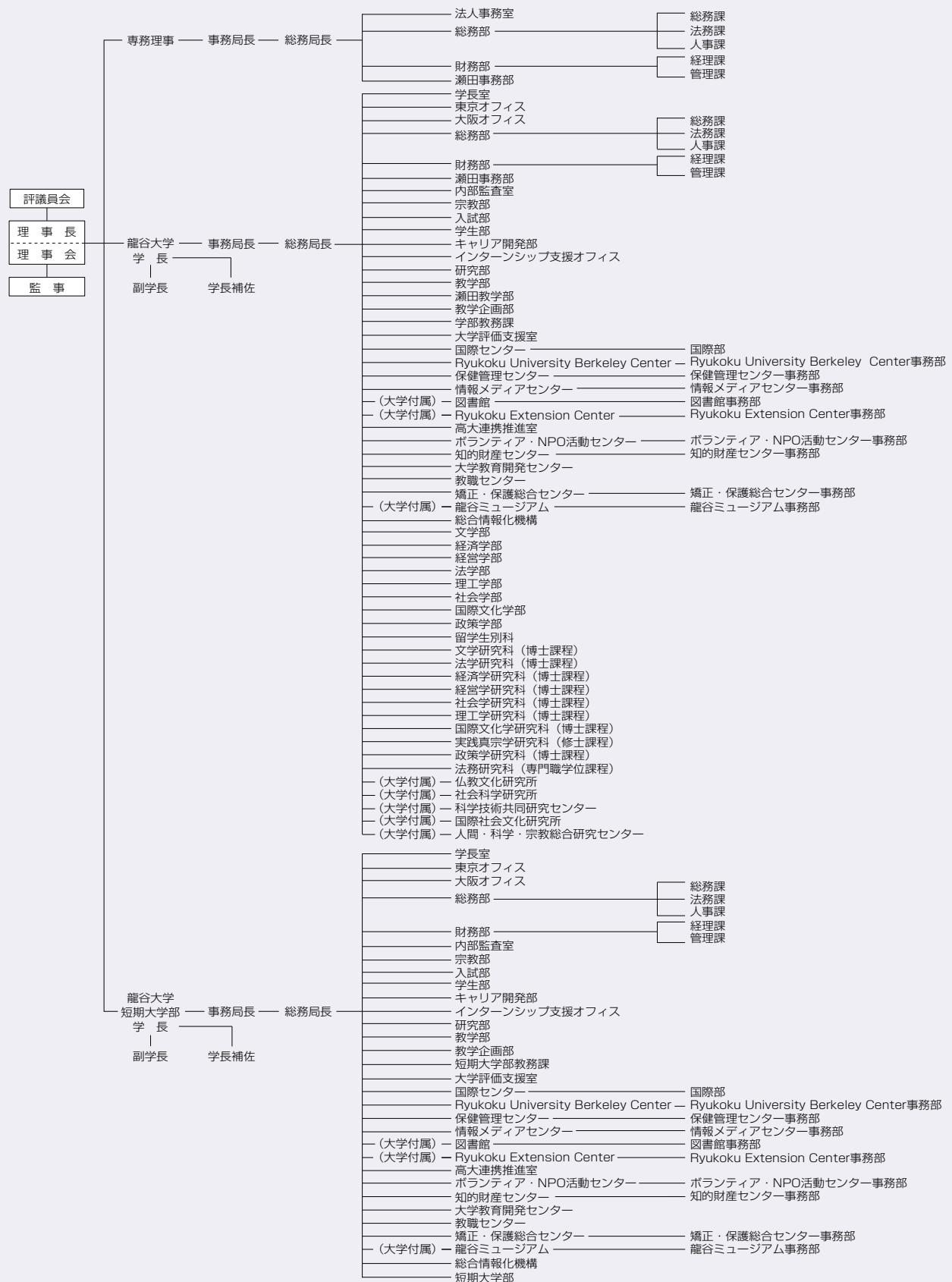


(注)

①大学学長は、短期大学部学長を兼ねる。

②大学の附属施設の内、診療所、図書館、Ryukoku Extension Center及び龍谷ミュージアムは短期大学部の附属施設を兼ねる。

③大学の保健管理センター、国際センター、Ryukoku University Berkeley Center、情報メディアセンター、大学教育開発センター、教職センター、ボランティア・NPO活動センター、知的財産センター及び矯正・保護総合センターは短期大学部の教学組織を兼ねる。



(注) 各学部 (短期大学部以外)、留学生別科、各研究科、各研究所、各研究センター、各学部教務課 (短期大学部以外)、瀬田事務部、瀬田教学部を除く全ての組織は、龍谷大学短期大学部の組織を兼ねている。